

JFA こころのプロジェクト「夢の教室」開催

元 WBC 世界チャンプ越本さんに学ぶ

「JFA（日本サッカー協会）こころのプロジェクト」による「夢の教室」が12月13日に国見小・中学校で、14日に内之浦中学校で開催されました。スポーツ選手らを「夢先生」として学校へ派遣して授業を行う企画で、今回は、越本隆志さん（ポクシングWBC世界フェザー級元チャンピオン）が来訪しました。

国見小では、同校の5・6年生と宮富小、波野小の5年生合わせて37名が体育館で越本さんと一緒にゲームを楽しんだあと、教室へ移動して話を聞きました。越本さんは自分の経験を語り、「目標を達成するためには本気でやるのが大事」と結びました。4年生のときにボクシングを始めたという国見小5年生の中村充希さんは「自分も世界チャンピオンをとってみたい」と話し、大いに刺激を受けた様子でした。



チャンピオンベルトを前に話す越本さん



体育館でゲームをして交流

河川守る大切さ知ろう 高山小5年生が工事見学

河川を守る大切さを学ぼうと高山小学校5年生が12月15日、池之園周辺で高山川の河川工事の見学をしました。国土交通省大隅河川国道事務所の職員から河川の役割について話を聞いたほか、山之口建設の協力により建設機械の試乗体験をしました。また、堤防ブロックに色を塗って、キャラクターの大きな絵を完成させました。



堤防ブロックに色塗り

新聞の読み方学ぶ 内小で「よむのび教室」

内之浦小学校で新聞の読み方や記事の書き方を学ぶ「よむのび教室」が南日本新聞社の記者を講師に12月15日に開かれ、5・6年生18名が見出しのつけ方やニュース記事の構成などを学びました。児童は「記事の工夫がたくさんわかっておもしろかった。これからは教えてもらったことに気を付けながら新聞を読みたい」と話していました。



新聞を手に学習する子どもたち